

I 学校教育目標

「心豊かに たくましく生きる 児童の育成」

《めざす児童像》

- ・ **笑顔**で明るく思いやりのある子
- ・ よく考え**全力**で取り組むかっこいい子
- ・ **元気**でたくましく最後まであきらめない子

《合い言葉》

「布佐っ子**笑顔** いつも**全力** **元気**なあいさつ」

創立150周年事業児童合い言葉募集令和4年6月9日決定

《合い言葉を達成するための具体的目標》

1 **笑顔**で明るく思いやりのある子

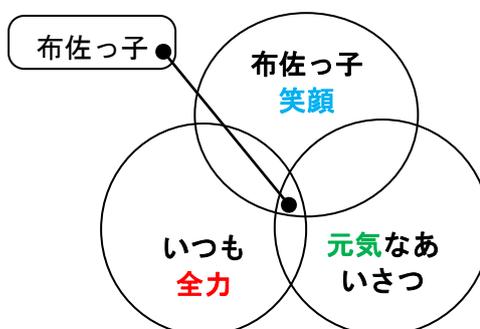
- (1) 「ありがとう」「ごめんなさい」など、思いやりのある言葉がかけられる。
 - ・ 「お礼や感謝」「お詫び」の言葉を素直に言える。
 - ・ 自分の気持ちを言葉で伝える。
- (2) 友だちや先生と仲良く遊べる。
 - ・ 子供と教師で遊ぶ。

2 よく考え**全力**で取り組むかっこいい子

- (1) 家庭学習の習慣化を図る。
 - ・ 毎日、国語の音読を行う。
 - ・ 毎日、学習している漢字練習をする。
 - ・ 毎日、学習している算数の問題を解く。
 - ・ 毎日、タブレットを使って「eライブラリー」を学習する。
- (2) 読書の推進 ※月に4冊以上
※低学年：20頁、中学年：40頁、高学年：60頁で1冊と数える等
- (3) 朝学習の充実、単元復習日の活用

3 **元気**でたくましく最後まであきらめない子

- 「給食～残菜の減少」に取り組む。
- 「もぐもぐタイムの実施」昼の放送を聞きながら静かに食べる。
- 鉄棒（「逆上がり」）や縄跳び（リズム縄跳び）など、各学年で達成目標を設定 低学年：マット「前・後転」、跳び箱「開脚跳び」
中学年：マット「開脚前・後転」、跳び箱「台上前転」
高学年：マット「側方倒立回転・補助倒立」、跳び箱「抱え込み跳び」



II 学校教育目標、経営方針、経営重点、重点課題、努力目標

1 学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

《めざす教師像》

- ・ 尊敬・信頼される教師
- ・ 心温かく、子供とともに遊ぶ教師
- ・ 地域を大切にする教師
- ・ 傾聴・丁寧な対応ができる教師

《合い言葉》

「布佐っ子笑顔 いつも全力 元気なあいさつ」

《めざす児童像》

- ・ よく考え全力で取り組むかっこいい子
- ・ 笑顔で明るく思いやりのある子
- ・ 元気でたくましく最後まであきらめない子

《指導重要事項～年間を通し指導に努める》

- ・ 命を大切にすることができる。
- ・ 自分の考えを述べるとともに、友達の話聞き、学び合うことができる。
- ・ 心のこもった挨拶ができる
- ・ 掃除がしっかりできる。
- ・ 廊下を静かに歩く。
- ・ 自分と友達とのよさや考えの違いがわり、友達との関わりを大切にすることができる。
- ・ 物を整理し、管理ができる。
- ・ 困ったときには話することができる。
- ・ 目標をもって、進んで運動することができる。
- ・ 時間を守り、規則正しい生活ができる。
- ・ 時と場に応じた正しい言葉遣いができる。
- ・ 布佐中学校区の各目標が達成できる。

2 経営方針

- ①児童理解を深め、豊かな人間性の育成や社会性の向上に努めます。
- ②児童の学習意欲を高め、基礎・基本の確実な定着を図ります。
- ③望ましい生活習慣や生活態度を育て、生き生きと生活する児童の育成に努めます。
- ④体力の向上や心身の健康の保持増進に関する指導の充実を図ります。
- ⑤伝統文化を大切にし、学校・地域が一体となり、開かれた学校を推進します。
- ⑥児童の豊かな心を育む、安全で、美しい教育環境の整備に努めます。
- ⑦積極的な研修活動により指導力を高め、授業改善に努めます。

3 経営の重点

- (1) 教職員の質的向上を図る
 - ・児童に対する言葉づかい、丁寧な対応
 - ・保護者へ傾聴する態度
 - ・教職員同士の言葉づかい、電話や来客への対応
 - ・働き方改革の推進
 - ・不祥事の防止
- (2) 温かな言葉と気持ちのよいあいさつが響き合う言語環境づくり
 - ・児童とともに遊び、心通わせ、言葉を交わす
- (3) 児童の個性を生かし、学習への興味・関心や意欲を高める工夫と実践
 - ・教材研究と家庭学習の提示の工夫
- (4) 校内研究における学団研修の充実
 - ・児童の学習訓練と指導技術の向上
 - ・若年層研修の充実
 - ・学団会の定期的実施
- (5) 保護者や地域との信頼関係を深め、学校・地域が一体となった教育の推進
 - ・職員全体で対応していくためには「報告・連絡・相談」の徹底が必要

4 重点目標

- (1) わかる授業の実現と基礎学力の向上
 - ・基礎・基本の確実な定着（計算や漢字など）
 - ・単元復習日の充実
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を促す授業づくり
 - ・子供同士が学び合える授業づくり
 - ・生徒指導の機能を生かした授業づくり（存在感・自己決定・共感的人間関係）
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・指導と評価の一体化（P-D-C-A）
 - ・カリキュラムマネジメント
- (2) **A b i**カリキュラムの見直しとふさカリキュラム（布佐学習）の推進及び充実
 - ・地域や関係機関とともに指導計画等の工夫・改善
 - ・地域人材の活用
 - ・指導資料の工夫・改善
- (3) 学習規律と生活習慣の徹底による学級経営の充実
 - ・子供同士の関係づくり 教師と児童との関係づくり
 - ・楽しい学級、学団
 - ・保護者との密な連絡、連携体制づくり
（連絡帳、電話等によるコミュニケーション）
 - ・学習や生活ルールの確立
 - ・「あいさつ、返事、清掃」の徹底

- ・長欠児童を出さない人間関係の充実
- (4) 地域と一体になった**小中一貫教育の推進**
 - ・グランドデザインの改善
 - ・小中の接続と教科横断的な視点からの実践
 - ・「目指す15歳の姿」の共有、実現に向けた取組の充実
 - ・小中間の児童生徒教職員の交流

5. 努力目標

(1) 道徳教育

- 「考え、議論する道徳」を意識した指導方法や評価の工夫改善
- 自分も友達も大切に作る児童の育成
- 感謝の言葉や態度を表すことができる児童の育成
- ものを大切に作る児童の育成

(2) 特別活動

- 学級活動や児童会活動の充実を通して、日常生活や各種行事、縦割り活動などを生かして、自主的・実践的な態度の育成

(3) 生徒指導

- 学校・家庭・地域社会の連携及び学校相互の連携の促進を図り、児童の意欲的な生活態度の育成
- 適切な指導の推進と不登校対策ができる指導

(4) 体育・健康・安全教育

- 運動をすることが好きな児童の育成
- 食に関する指導の充実
- 「自分の命は自分で守る」防災意識の定着

(5) 人権教育

- 福祉教育、交流教育、教科の指導の中で、自他共に尊重し、共に生きようとする心の育成
- いじめの根絶、思いやりの心の育成

(6) 情報活用能力の育成

- タブレットを活用した授業、ICT教育の充実
- プログラミング的思考を育てる学習
- タブレットを活用した個別学習

(7) 長期欠席児童ゼロへ

- いじめが要因の長期欠席児童を出さない。
- 教員の不適切な指導が要因の長期欠席児童を出さない。
- 授業がわからないが要因の長期欠席児童を出さない。

(8) 早期発見、早期報告、早期対応を行い学校体制で対応する。